

国立病院機構 和歌山病院での実習を終えて



河野 祐子

今回、呼吸器内科のポリクリ実習の一環で2日間和歌山病院にて実習させて頂きました。駿田副院長には結核について空気感染や入院患者の病棟の感染対策などについて詳しく教えていただきました。実際に結核患者の入院している病棟に入り、結核患者がどのように過ごしているかを見ることができました。個人的にもっと隔離された病棟を想像していましたが実際の現場を自分の目で見ることで良かったです。

また、この実習で一番印象的だったのは南方院長のセミナーです。南方院長には、苦手としていたレントゲン読影について初歩的などころから詳しく教えて頂きました。お忙しい中、全く理解していない私達に時間を割いて下さり、根気強く付き合ってくださいました。このセミナーで考えることの大切さや発言することの難しさについても気付かされ、ただただ暗記しかせず考えることを放棄していた今までの勉強方法を改めなければならないと感じました。また、ブロンコ体操を教えて頂き、なかなか覚えにくい肺区分について体を動かすことで自然と覚えることができました。

昨年の系統講義で呼吸器には全くと言っていいほど興味が湧きませんでした。今回の実習を通して呼吸器に大変興味を持ちました。実際に現場の患者を診る楽しさ、考える大切さを感じました。この経験を忘れることなく、これからのポリクリ実習を頑張ろうと思います。

お忙しい中、今回の実習に携わってくださったスタッフ皆様に感謝します。

貴重な体験をさせて頂き本当にありがとうございました。